

ランニングコスト：水道料金の算出方法

ドリップチューブ (C10DR501：約 100m分)

1日 30分を 1回実施、水道料金 0.3 円/ℓ の場合

吐水口 (エミッター) 1個当たりの水量 1.0 L/h 1日 30分で約 100 L 30 円
 1日 1時間 およそ 60 円

ドリップチューブの吐水口数は？
 (C10DR501：100m分)

公式

$$\text{吐水口数} = \text{チューブ長さ} \div \text{穴ピッチ}$$

(500 mm = 0.5m)

$$100\text{m} \times 0.5\text{mピッチ} = 200\text{個}$$

1時間当たりの水量は？
 (C10DR501：1.0L/h)

公式

$$\text{水量} = \text{吐水口数} \times \text{水量}$$

$$200\text{個} \times 1.0\text{L/h} = 200\text{L/h}$$

(1時間あたり→30分なら 100L)

L/h を L/min に換算
 (L/min にして、単位を揃える)

公式

$$\begin{aligned} \text{L/h} &= \text{L/min} \times 60 \\ \text{L/min} &= \text{L/h} \div 60 \end{aligned}$$

$$200\text{L/h} \div 60\text{分} = 3.33\text{L/min}$$

30分当たりの水道料金は？

公式

$$\begin{aligned} \text{水道料金} &= \text{水量} \times \text{時間} \times \text{水道料金} \\ &= \text{L/h} \times \text{min} \times \text{円} \end{aligned}$$

$$3.33\text{L/min} \times 30\text{分} \times 0.3\text{円} = 29.9\text{円} \neq 30\text{円}$$

(繰り上げ)

見本の水道料金は一例で、単価は自治体ごとに異なるので、各自治体までご確認ください。

ランニングコスト：水道料金の算出方法

ドリップチューブ (C10DR501：約 100m分)

50 m²分 散水プラン並列敷設

